

# 保護者と教員の連絡手段 にもICTの利用を！

2022年9月 町田市議会 一般質問 矢口まゆ 項目5

## 欠席連絡をデジタル化

■校種・学年：小学校以上

■活用の概要：

アンケート機能を活用し、職員室のPCを通して保護者からの欠席連絡・検温報告を確認できるようになった。デジタル化によって朝の電話による業務の中断が減り、業務に集中できる環境が整えられた。

- ① 保護者にアンケートの入力フォームURLを案内
- ② 保護者がアンケートの入力フォームに回答
- ③ アンケート機能により、担任や養護教諭に電子メール自動送信
- ④ 担任や養護教諭は、その電子メールにより出欠を確認

■準備するもの：

- ・電子メール
- ・アンケート機能
- ・表計算ソフト（OS標準）

## 保護者から学校への連絡手段が紙や電話のみだと...

- ▶ 朝、わざわざ登校途中の友達に親が欠席の届出を渡しに行く。
- ▶ 連絡帳は子どもに渡すため、先生への相談事は書きにくい。
- ▶ 先生に電話で相談したいことがあるが、仕事が終わるまで時間が取れずなかなか先生と話せない。
- ▶ 先生方にとっても業務の負担になっている。

欠席連絡をデジタル化

電話による業務中断が減る

教室からも確認できる

アンケート機能を活用することにより、名前やクラス名、欠席理由等をデータとして共有することができます。欠席連絡は、教室にいてもICT端末から確認することができます。

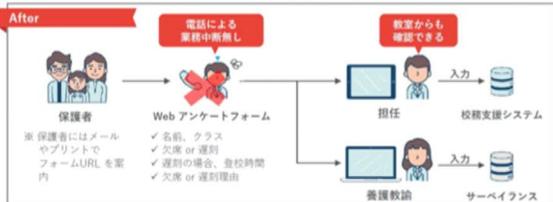


### ■アドバイザーからのコメント

欠席連絡がデジタル化されたことで、担任は、学校のどこにいてもICT端末から情報を確認することができます。朝の電話対応が減ることで、登校している児童生徒の様子も余裕をもって見るできるようになります。

また、欠席の情報を蓄積し共有しておくことで、多くの目で児童生徒の様子を把握することにもつながります。

担任や養護教諭など、様々な職員にすぐに情報を共有できることや、自動で出欠情報が集約されることなど、デジタル化の利点を生かした事例です。



# 欠席連絡・健康観察、連絡帳のデジタル化で 担当教師1人あたり年間76.3時間の業務削減

## 出欠・保健情報管理

### 欠席連絡・健康観察

#### 欠席連絡・検温報告の Web アンケート化

小 中 高 特支

#### 取組内容

- Web アンケートフォームを活用し、職員室の PC を通して保護者からの欠席連絡・検温報告を確認できるようになった。

#### 削減時間

※担当 1 人あたりの目安

- 日 10 分 × 年 200 日 = **33.3** 時間/年

#### 導入効果

- 情報収集が一元化され、データの集計・閲覧が容易になった。
- 統一したフォームを活用することで、担任の負担が減った。
- 提出方法が明確になり、保護者の負担が減った。

#### 課題・対応

- 保護者にどのように伝えるのが、課題だった。 ▶ 文書を作成し配布した。
- 機器の操作が分からない教員がいた。 ▶ 事前に資料を作成した。



>>グループウェア活用マニュアル「欠席連絡をデジタル化」  
具体的な設定方法を記載していますのであわせてご参照ください。

## 保護者対応

### 連絡帳での保護者とのやりとり

#### 問い合わせをメール・Web アンケートで受付

小 中 高 特支

#### 取組内容

- 保護者から学校への連絡手段をメールや Web アンケートに変更した。

#### 削減時間

※担当 1 人あたりの目安

- 週 1 時間 × 年 43 週 = **43.0** 時間/年

#### 導入効果

- Web アンケートやメールの活用により、学校が保護者に個人情報である電話番号を伝えることなく、休日に保護者が学校に連絡を行うことができるようになった。
- 教職員の業務外の時間に保護者対応をすることが減少した。

#### 課題・対応

- インターネットへのアクセスが難しい家庭は情報を送受信できない。 ▶ 該当する家庭には個別に対応した。
- 使用方法の分からない保護者への対応が必要になった。 ▶ 事前に使用方法について、書面や説明会などで丁寧に説明した。



>>グループウェア活用マニュアル「教職員・児童生徒・保護者にアンケートを行う」にて、  
具体的な設定方法を記載していますのであわせてご参照ください。

全国の学校における  
働き方改革事例集

令和3年3月  
文部科学省